

エコドライブ継続重要

環境再生
保全機構

入賞2社、活動事例を紹介

【兵庫】環境再生保全機構（湊亮策理事長）は2月28日、神戸市で、エコドライブセミナーを開き、燃費向上にとどまらずドライバ



ーのレベルアップにつながる効果をアピールした。兵庫県トラック協会と県、神戸市が後援。出席した経営者や管理者は講演に熱心に聴き入った。

活動事例では、ロジバルエクスプレス（馬場範夫社長）コスト削減から環境意識の構築に至る経緯を語る越野運送の越野社長

長、東京都葛飾区）業務改善推進課の遠山直樹氏が、

コンテンツで毎回、入賞事業所数を増やしてきた実績を通じて継続の重要性を強調。取り組みとしては、社内ドライバーコンテンツの実施に加え、情報の共有および人事評価に連動させた

資格取得などの社内バックアップ体制を挙げた。また、越野運送（大阪市都島区）の越野泰弘社長も、コスト削減から環境意識の構築に至る経緯を紹介。「社員モチベーションを高め

るため、燃費向上は当たり前という認識の浸透を図る一方、自己申告制を取り入れた目標設定でマネリを防いだ」と話し、優秀賞を得た工夫を述べた。

（渡辺 弘雄）

会員同士の融通配車取り組む

Webキット
京都協組

経営資源相互利用で効率化

【京都】Webキット京都協同組合の吉田敏雄理事長は2月26日に開いた新年会で、今後、賛助会員の正

会員化、会員同士の融通配車などに取り組む方針を発表した。

現在は正会員が6社、賛助会員11社まで増加。組織をより盤石なものにするため、出資金の問題をクリアしながら、今後1年かけて賛助会員の正会員と



8112万円と今年度目標の6000万円を大きく上回ったことを報告。「10か月で当初予算比135%を達成、年度末には160%